

四谷の

千枚田だより



第270号



令和七年度 四谷の千枚田地域 振興協議会の開催

開催日 令和八年二月二十四日

開催場所 市民センターほうらい

実施主体は四谷の千枚田地域振興協議会に参加する鞍掛山麓千枚田保存会、四谷集落協定、四谷区長、NPO法人国内産米の粉伝統食文化推進ネットワーク、横浜ゴム(株)新城工場、チームTAKO、愛知東農業協同組合、(公財)農林業公社しんしろ、愛知県新城設楽農林水産事務所建設課及び農政課、新城市産業振興部農業課で構成。事務局は鳳来総合支所地域課に置かれている。

会議の概要

会長の小山舜二は冒頭に、挨拶を兼ねて令和七年度の主なできごとを会員と共有した。

この協議会は令和三年四月十六日、国の「指定棚田地域振興活動計画」として五年間の期限立法で成立認定され、今年が第二期の初年度になる。現在、国政も高市内閣になり、何かと慌ただしく、詳細な進捗状況は掴めないものの、国の宝と位置付けた「改正棚田法案」の可決、成立(継続)はやぶさかでない。

①横浜ゴム新城工場さんは四月新人幹部社員研修。また、生物多様性

活動の一環として外来植物、アメリカセンダングサなどの駆除作戦を行っていただいております。

この活動は同社が主導で官民連携した、まさに「地域振興・つなぐ棚田遺産」の模範的活動と思われる。その他にも奥三河パワートレール沿道整備などのご協力をいただいております。

丸八製菓(八雲だんご)さんは千枚田の余剰米(古米)をお買いいただいて千枚田五平餅を郵便局の宅配を利用して全国展開。また、東三河郵便局や市教育委員会などの協力で小中学生を対象に千枚田絵画コンクールを開催。千枚田に賑わいと毎年七月にはチームタコさんにより「リアル案山子」の設置をいただいております。

チームタコさんは欽ちゃん香取慎吾の全日本仮装大賞に二十回出演。大阪万博ではレジェンドとして出演するなど、頑張っております。愛知東農協さんは「子ども農学校」の開催など、四谷の千枚田の保存継承にご尽力いただいております。

その他にも愛知県新城設楽農林水産事務所建設課の若手職員六名には「S研」として今年度から稲作

支援をいただいております。これには愛知大学の学生や新城有教館の学生二名も今年から加わる予定です。一昨年、昨年のこの協議会に於いて千枚田の作業道を中心にした施設の再整備は、引き続き要望してゆく所存です。皆さんには「四谷の千枚田」の保存継承に大きく携わって頂き、心からお礼申し上げます。

昨年は、稲の開花期の長雨による受粉の不具合や刈り入れ時の焼けのような暑さ、ニホンジカ、サルの被害が頻発、耕作者には決して良い年とは言えなかったが、頑張っている。以上、冒頭に昨年度を振り返り、挨拶とした。

協議事項

本会議は、規約第十二条第二項に基づき小山会長を議長に、議長の指名で議事録署名人を四谷集落協定代表の村雲伸一さん、市農業課の松山課長さんとし、議事を進行了。

令和七年度四谷の千枚田地域振興協議会活動内容が事務局から項目別に(1)棚田等の保全○管理面積の維持。○新たな耕作放棄地の発生防止。担い手の維持・確保。保存会・集落協定により千枚田入口周辺、ふれあい広場、農道、周辺林地、無住地の荒廃農地等の草刈り、水路の除伐、稲作勉強会の実施。(2)棚田等の保全を通じた多面にわたる機能の維持・発揮○農産物の供給の促進では五年間で新米一トンの販売達成。○自然環境の保全・活用などでは地元鳳来寺小学校、豊橋調理製菓専門学校、愛知東農協こども農学校、ヤ



マサちくわなどの稲作体験。市内千郷小学校、鳳来寺小学校の校外学習。○良好な景観の形成ではリアル案山子の設置・管理など。(3)棚田を核とした棚田地域の振興○棚田における都市農村交流を通じた関係人口の創出・拡大による地域振興ではお田植感謝の夕べ(四百人)。第八回「四谷の千枚田絵画コンクール」(応募数四百九十九点)作品展示は長篠郵便局、市民センターほうらい、観来館、道の駅したらほか。「四谷の千枚田だより」を毎月発行、新城市HPによる情報発信を継続(現在二百六十九号)。棚田米を活用した六次産業化の推進では千枚田五平餅を郵便局を通して通信販売、道の駅でも販売(八雲だんご)等々が報告、協議はスムーズに可決終了した。

田起こし&田んぼとび

地元鳳来寺小学校五年生は校外学習の一環として「四谷の千枚田」で稲作体験や環境学習を行っている。

三月五日、五年生(六人)と新学期から取り組む四年生(十人)は千枚田の学習田二枚の田起こしにやってきました。

児童たちから「お願いします」の挨拶をいただき、冬の間に固まった田んぼの土を耕すことは稲を実らせ、疲れた地力を若返らせる(向上)大切な作業で、特に千枚田は冬には土が凍ったりするので耕すことで美味しいお米が獲れる。等々の説明に続いて田起こしを行った。



そして恒例の田んぼとび。ケガは自分持ちと諭し、入念な準備体操を行い二十数段の田んぼを駆け上がった。先生の「よーいドン」を合図

に児童たちは高いところは二階もある段々田んぼを一斉に飛び降りてきた。児童たちは嬉々と、もう一度もう一度と三回も挑戦。田舎の学校ならではの「ふるさと思い出づくり」を満喫したようだ。齢八十五の爺も家族や知人から「見苦しいで飛ぶな」と言われていたが枯れた血が騒ぎ、一回だけ挑戦、最高な気分をいただいた。



最後に全員が一斉に「千枚田ありがとう…」と掛け声を上げて飛び跳ねた。
理事会
 二月二十八日、鞍掛山麓千枚田保存会第三回理事会が行われた。

議題 1. 保存会事業進捗状況及び決算状況等について
 松下会計からレジュメに沿って説明がなされた。(事業進捗状況等は毎月発行の千枚田だよりに掲載のとおり)

2. 次年度役員について
 会長は、ここ数年間、会う人すべての人々から「後継者は?、後継者は?…」とさんざん言い続けられてきた。頑張ってきたつもりでもあるが齢八十五と、役職に居座っては見苦しい年でもあるし、引き際も極めたい。是が非でも今年を限りに会長の辞任をと、真剣にお願いした。

3. その他
 次回理事会―総会について。
ミネアサヒが連続「特A」に
 二月二十七日、日本穀物検定協会が発表した令和七年産米の食味ランキングで、三河中山間の冷涼な地区で栽培されたミネアサヒが「特A」に四年連続五度目の最高ランク獲得となった。ちなみに、対象となった全国百四十四銘柄のうち、特Aは四十三銘柄。県内産米で他に特Aとなった銘柄はない。
 ミネアサヒはやや小粒で、粘りとほのかな甘みがあり、冷えたごはんも旨いし、のど越しの食感がたまらない…と自負する。
 余談ではあるが…丸八製菓(八雲だんご)で十余年前に製品開発された「千枚田五平餅」は湧き水・天日干しと贅沢に生産された千枚田産のミネアサヒを原材料としており、旨い、と好評を博している。

ヤマアカガエルの産卵

ヤマアカガエルは春の初めの雨が刺激になり産卵する。

同種は大変希少な種であり、連谷地域でも与良木の溜水と大林の清水以外の確認はなかった。平成十四年、ふるさと・水と土ふれあい事業による農道やふれあい広場の施設整備が行われた。保存会は、それを記念して「ビオトープ」を造成、モリアオガエルを移植。その翌年にヤマアカガエルを移植し、両種とも約三年後には自然産卵までに至った。その後の観察ではヤマアカガエルは年を越した最初の雨が刺激になり産卵することが判明した。

例えば、早い年では一月十日の雨で産んだこともあり、今年は歴史的な雨不足で二月二十五日に久しぶりに雨が降った。その日に三個体の産卵、三月三日の雨で二個体の産卵があった。なお、横浜ゴム新城工場は四谷の千枚田内にビオトープ二か所を造成管理、生物多様性活動を行っている。そのビオトープにおいても同様に産卵が確認されている。



行 令和八年三月十五日
 鞍掛山麓千枚田保存会
 発 文 責 小山舜二